

福祉学習体験プログラム①

プログラム名	<h1>ボランティア講話</h1>
	東日本大震災後、改めてボランティアの大切さ、必要性が見直されています。では実際に私たちは「ボランティア」をどの程度知っているのでしょうか。「ボランティア」というテーマを通して、私たちが身近にできることについて考えていきます。

1	内 容	「ボランティアとは」、「ボランティアと奉仕の違い」、「ボランティアの考え方」、「身近なボランティア活動」、「災害ボランティアから学ぶこと」など、様々な切り口からお話させていただきます。
2	講 師	<講 師>台東区社会福祉協議会職員
3	会 場	学校の体育館、教室など
4	時 間	概ね 50 分程度
5	費 用	特になし
6	必要物品	PC (DVD閲覧可能)、プロジェクター
7	備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にPC動作確認などを行います。 ・実施後の感想文などを送っていただくなど、生徒の感想をお聞かせください。

<都立高校での講話の様子>



質問1 ボランティアの経験はありますか？

- ① ボランティア経験がある
- ② 経験はないが、やってみたい (興味はある)
- ③ 経験はない、あま

まとめ

○自分の都合や生活に合わせて活動できるのが特徴です。義務的に活動する必要はありませんが、責任は伴います。	○「誰かの力になりたい」その思い(共感)がボランティア活動につながります。
○相手のために行うのがボランティア活動です。決して自分のためや学校のためではありません。	○どんなに小さな行動でも、その思いは相手に届いています。

ボランティア活動